



武蔵石材新聞

いよいよ夏本番を迎え、暑さの厳しい季節になりました。いかがお過ごしでしょうか。雑司ヶ谷霊園に洋型墓石が完成しました。

墓石はシンプルな2段型で、竿石の上部は



櫛型にカットしています。

お施主様はフクロウを長

い間飼っておられたそうで、竿石の左上に羽の模様を彫刻

し、親子のフクロウの可愛い置物を中央に飾りました。

温かみの感じられる素敵なお墓になりました。昔、当店の

近くでお仕事をしておられたということで、懐かしさもあって

何度もご来店いただいて打ち合わせを重ねた甲斐があり、

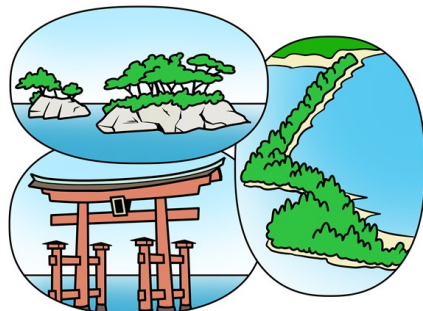
お墓の完成をたいへん喜んでくださいました。



知っていますか? 7月の記念日

●7月21日は「日本三景の日」です

日本三景観光連絡協議会が2006年に制定しました。日本三景は、江戸時代初期に儒学者 林春斎が著書『日本国事跡考』で「松島」「天橋立」「宮島」を「日本三景」と称したことに由来し、林春斎の誕生日にちなんで制定されました。いずれも国の特別名勝に指定され、1996年には宮島の厳島神社がユネスコの世界文化遺産に登録されました。



■発行者: 有限会社 武蔵石材店

井岡 進 (いおかすすむ)

昭和48年12月 葛飾区新小岩生まれ
小松小、日大一中、日大一高、立正大妻、娘(大1、高2、中3)の5人家族
(父母も元気です!)

所属: 本田消防団、葛飾区法人会
東京土建葛飾支部、新小岩商交会、
小松通り会会長

※学生時代、イタリア料理店でバイトしました。その経験で、今でもたまに家でピザを焼く(魚焼きグリルを使って!)のが趣味です。



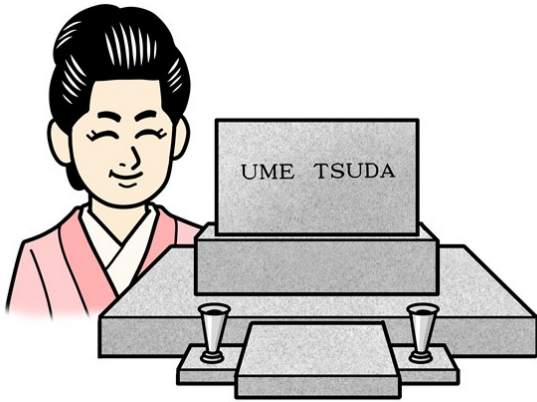
(有) 武蔵石材店 TEL: 03-3651-0234
東京都葛飾区新小岩2-16-10



～お墓・仏事のミニ知識～



★ 5千円札の顔「津田梅子」のお墓



津田梅子は明治から大正にかけて日本の女子教育に尽力した教育家で、津田塾大学の創設者としても知られていますが、そのお墓が同大学の小平キャンパス敷地内にあることをご存じでしょうか？梅子はわずか6歳で「岩倉使節団」の一員となりアメリカへ留学しました。帰国後も女性の地位向上に尽力し、その後、現在の津田塾大学を創立。「墓は小平の新校地に建てて欲しい」と遺言しました。許可が下りず一度は青山に埋葬されたものの、後に遺族や卒業生などの要望で許可が得られて小平へ改葬されます。お墓正面はローマ字で「UME TSUDA」と彫刻されています。今も校舎から少し離れたグラウンドの奥で、静かに眠っています。

神事クイズ Q&A

知っているようで知らない神事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。



「千本鳥居」で有名な京都府の伏見稻荷大社。実際にある鳥居は何基でしょう？

- ① 約100基
- ② 約1,000基
- ③ 約10,000基



すべて奉納されたもので、現在も増え続けていますので、かなりの数です！



まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。